

# リモコンエンジンスターター&ターボタイマー

## 取扱説明書／保証書

# BeTime A-71

このたびは、リモコンエンジンスターターをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

### 目次

- 主な特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2ページ
- 使用上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3ページ
- 梱包内容と各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・4～5ページ
- 取付け
  - ・取付けの注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6ページ
  - ・接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7～8ページ
  - ・メインユニットのファンクションスイッチの設定・・・・9ページ
  - ・作動確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10ページ
  - ・LED確認表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11ページ
  - ・フットブレーキ配線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12ページ
  - ・L端子検出配線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13ページ
- リモコンの使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14～15ページ
- 機能説明
  - ・アイドリング時間の設定・・・・・・・・・・・・・・・16ページ
  - ・セル時間の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16ページ
  - ・ターボタイマーの設定・・・・・・・・・・・・・・・17ページ
  - ・「守護神」シリーズ連動について・・・・・・・・・・・・18ページ
  - ・カーテシ検出による安全機能・・・・・・・・・・・・・・・19ページ
- アンテナユニット・メインユニットの固定方法・・・・・・・・20ページ
- 警告ステッカーの貼り付け場所・・・・・・・・・・・・・・・21ページ
- オプションについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21ページ
- 運転するには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22ページ
- IDコードの再登録/追加登録・・・・・・・・・・・・・・・22ページ
- 故障かな?と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・23～24ページ
- アフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・25ページ
- 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26ページ

COMTEC  
P-Ver.2 720140

## 主な特長

### 好みのアイドリング時間とターボタイマー時間を設定

- エンジンスタートアイドリング(暖気)時間は20分又は40分の選択式
- ターボタイマー時間は走行時間によってアフターアイドリングを自動的に設定します。
- グロー時間は5秒・8秒の選択式

### セル時間調整機能搭載

- オート・マニュアルの切替え式。マニュアルはセルボリュームにより最長2.5秒まで調整可能。

### 電波視界到達距離 MAX 3300M (当社 測定最高値)

- 本製品は特定省電力の認定を受けており、見通しの良い場所で最長約3300m(※1)の通信が行えます。(※2)

※1 当社測定による最高値

※2 場所によっては周囲の電波の影響を受け、通信距離が極端に短くなる場合もあります。

### 守護神シリーズとの連動でセキュリティ性を強化

- 弊社別売 自動車盗難警報装置 守護神シリーズのスタート/ストップ操作が可能です。

### 操作性を重視したリモコン

- ダブルスイッチ方式の採用でうっかり押しを防止。
- リモコンは、安心の生活防水仕様
- 付属リモコン以外に、別売リモコンを追加できます。

### 安全機能

- 本製品は万が一に備えた安全機能を採用しています。
  1. 独立配線システム
  2. IDコードによる誤作動防止機能
  3. A/Tシフトストップ機能
  4. フットブレーキ回路 ※3、4はどちらか選択になります
  5. ACC検出回路
  6. バッテリー電圧検出機能
  7. ボンネットセンサー回路 ※オプション接続
  8. ドアオープン(カーテシ)ストップ回路 ※オプション接続
  9. 本体の消費電流を抑えるスリープ機能(8日間 車輛エンジンをかけなかった場合)

## 使用上の注意

ご使用前に下記の注意事項を必ずお読みください。

### 危険

事故・火災等の危険性がある、下記の状態や場所での使用は避けてください。

- 排気ガス中毒の危険性がある換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
- ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
- 火災の危険性がある、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
- 暴走事故を防止するため、イグニッションキーをOFFにする時はATシフトレバーをP(パーキング)に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。特に、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、P(パーキング)以外でもイグニッションキーを抜くことができるため、必ず守ってください。
- 暖機運転の直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を十分に冷ましてから行ってください。
- お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。
- マニュアルミッション車には本製品を取付けしないでください。事故になる危険性があります。
- 一部の車輛で本製品をつけることによりエンジンを停止する時にシフトレバーがP(パーキング)、N(ニュートラル)位置以外でキーがOFFまで回りキーが抜けてしまい、ターボタイマー使用時に車輛が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション(Be-963又はBe-973)等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーがP(パーキング)の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。

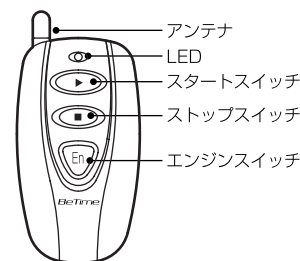
### 注意

車の故障又は本機使用中、機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用は注意してください。

- 本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
- リモコンのケースやアンテナを手等で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
- リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルは、はがさないでください。
- リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、罰せられることがあります。
- ターボタイマー(スターター含む)や他社盗難警報機との併用取付けはできません。
- 本機作動中はキーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- 本製品作動中、オートポジションステアリング及びシートが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- スターターやターボタイマーを作動する時、車のオートライト機能を「AUTO」にすると、ヘッドライトが点灯したままになる車種は、降車時にスイッチをOFFにしてからイグニッションキーを抜いてください。
- 公道でエンジンをかけたまま車輛を無人で放置すると、道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。(公道とは、公共施設・スーパー・月極等の駐車場や河川敷・神社の境内等、不特定多数の車が入り得る場所を含みます。)

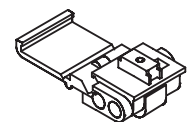
本機取付け後にエンジン始動及び停止した時、車載のスピーカーから異音が発生することがありますが、異常ではありません。

## 梱包内容と各部の名称



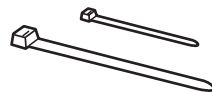
### 注意

アンテナを縮めると電波到達距離が著しく低下します。



### ■リモコン(1個)

- ※ 電池 CR2016 (2枚)  
リモコン内にセットされています。



### ■インシュロック

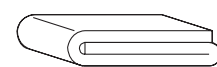
- (大) (3本)
- (小) (5本)



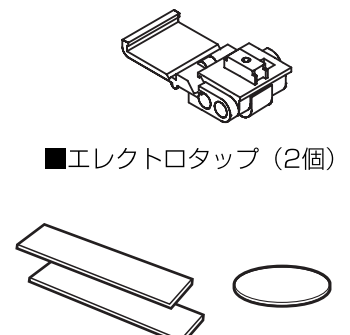
### ■コードクランプ(2個)



### ■L端子延長線 (白色)(P13参照)(1本)



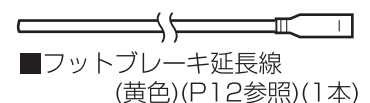
### ■保護テープ(1枚)



### ■両面テープ (メインユニット用×2枚) (アンテナユニット用×1枚)



### ■警告ステッカーシート(1枚)



### ■フットブレーキ延長線 (黄色)(P12参照)(1本)

# 取付けの注意

取付ける前に下記の点に注意して、本機の取付けを行ってください。

## 1 取付けに必要な工具等

- ・サーキットテスター
- ・ドライバー
- ・ハサミ
- ・プライヤー
- ・スパナ又はボックスレンチ
- ・カッターナイフ
- ・絶縁テープ

☆その他の工具が必要になる場合があります。

## 2 シフトレバーとパーキングブレーキ(サイドブレーキ)について

シフトレバーをP(パーキング)にして、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)を確実にかけ、イグニッションキー(IGキー)を抜きます。



## 3 配線について

●アンダーカバー内へ収納する際、車の金属部(コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等)に専用ハーネスやコード類が接触しないように配線してください。配線が接触する可能性のある場合は、保護テープを貼って保護してください。



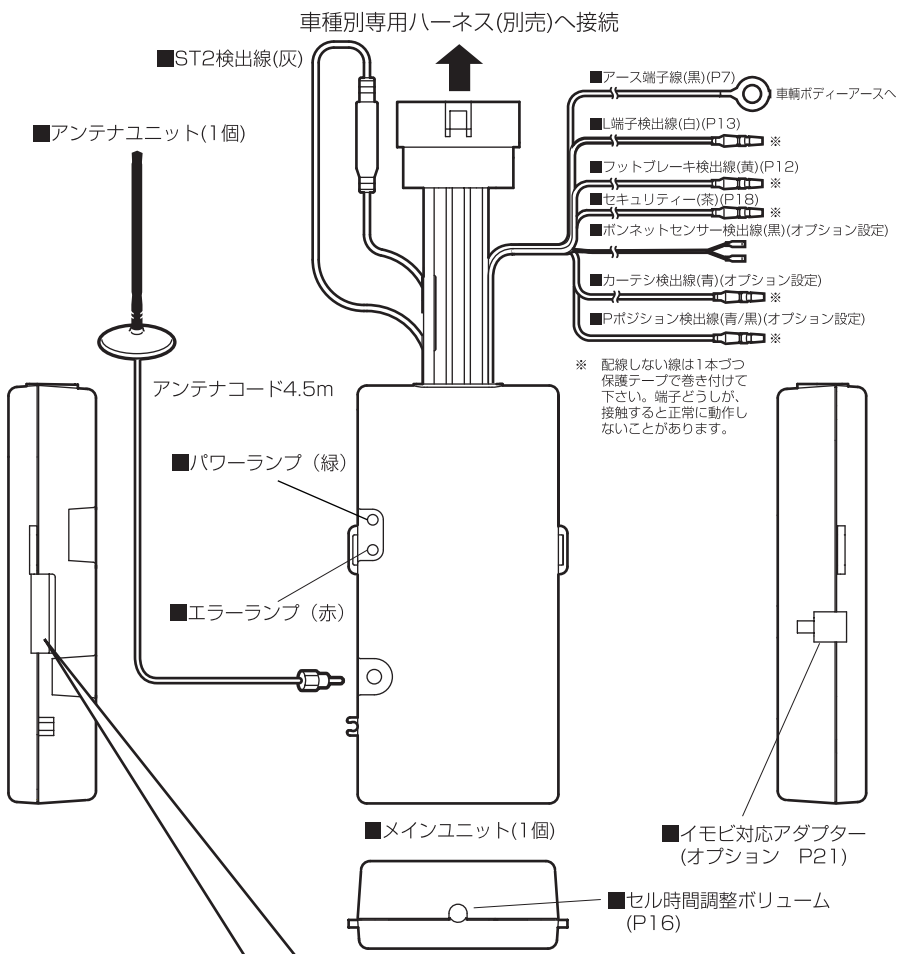
## 4 エレクトロタップ使用方法について

**1** 車側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、本機コードは差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。

**2** プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。

**3** カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。

**4** 絶縁テープを巻いて作業終了です。



ファンクションキー(P9)

A		スイッチのはたらき		OFF	ON
1	Pポジション検出	通常	OV		
2	セルストップ方式	オート	マニュアル(ボリューム調整)		
3	エンジン始動検出方法	オート	L端子		
4	グロー時間	5秒	8秒		

B		スイッチのはたらき		OFF	ON
1	IG入検出の選択 注1	IG1	IG2		
2	フットブレーキ配線	配線しない	配線する		
3	アイドリング時間	20分	40分		
4	ターボタイマー	OFF	ON		

注1. ダイハツグループの一部の車種はリモコンでエンジン始動した時メインユニットのパワーランプが点灯したままセルがまわらず、エンジンが始動しなかったりターボタイマーを使用した場合に、キーを抜いてもパワーランプが点灯したままエンジン停止しないことがあります。そのような時はファンクションスイッチB-1をONにして下さい。(ムーブ以外の車種でも同様の症状がでましたらONにして下さい。)

# 取付け (接続)

**1** 車のキーシリンダーから出ているコネクタをさがしてください。

①キーシリンダー直付けタイプ

②キーシリンダーから10cm~20cmの場所にあるタイプ

③ヒューズボックス付近にあるタイプ

**注意**  
コネクタの場所は、車種によって異なります。  
・キーシリンダー直付けタイプ  
・キーシリンダーから10cm~20cmの場所にあるタイプ  
・ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ  
・車種によってはコネクタが2ヶ所に存在する場合がありますので注意してください。

**2** 車側のコネクタを外し、外したコネクタ間を専用ハーネスで接続してください。

**注意**  
・車側のコネクタを外して、イグニッションキーでエンジンを始動させた時、エンジンがかかる場合はコネクタが間違っています。  
・専用ハーネスだけを接続した状態では、イグニッションキーでエンジンの始動はできません。

**3** メインユニットのアース端子(黒コード)を、塗装されていないボディまたはフレームのビスへ確実に共締めします。

**注意**  
・バッテリー電圧と同等の電圧があるか確認してください。  
・アース端子とフレームの間に樹脂、塗装等があると、確実なアースがとれません。  
・不適切な場所へアース端子を取付けると、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。

この部分に取り付けます

# 取付け (接続)

**4** 専用ハーネスの8Pコネクタとメインユニットの8Pコネクタを接続します。下記の図①・②・③から専用ハーネスの種類を確認し、配線してください。

① 専用ハーネスに黒コードが1本

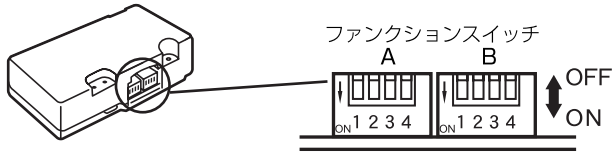
② 専用ハーネスに黒コードが1本、灰コードが1本

③ 専用ハーネスに黒コードが2本

④ 専用ハーネスの8Pコネクタとメインユニットの8Pコネクタを接続します。下記の図①・②・③から専用ハーネスの種類を確認し、配線してください。

# 取付け (メインユニットのファンクションスイッチの設定)

メインユニットには下記の設定を行なうためにファンクションスイッチがついています。



A	スイッチのはたらき	内容	OFF	ON
1	Pポジション検出 (※1)	Pポジション線の電圧が0Vの車はON、12Vの車と配線しない場合はOFFにします。	通常	0V
2	セルストップ方式	エンジン始動時のセルを止める時間を設定します。	オート	マニュアル (ボリューム調整)
3	エンジン始動検出方法	エンジン始動検出の選択をします。	オート	L端子
4	グロー時間 (※2)	グロー時間を設定します。	5秒	8秒

B	スイッチのはたらき	内容	OFF	ON
1	IG入力検出の選択 (※3)	イグニッションキー入力の検出がIG2の車種はONにします。(通常はOFFにします)	IG1	IG2
2	フットブレーキ配線	フットブレーキ配線する場合、ONにします	配線しない	配線する
3	アイドリング時間	リモコンでエンジン始動したときのアイドリング時間を設定します。	20分	40分
4	ターボタイマー	ターボタイマー時間を設定します。	0秒(OFF)	セミオート

- ※1 一部の車種でターボタイマー作動中、シフトレバーがパーキング[Ⓜ]の位置でキーが抜けてしまう場合にBe-963 Pポジション線を車輛のPポジションインジケータースターランプに配線して設定します。
- ※2 ほとんどのガソリン車はOFF(5秒)に設定します。
- ※3 ダイハツムーヴの一部の車種はリモコンでかけた時メインユニットのパワーランプが点灯したままセルがまわらず、エンジンが始動しない場合やターボタイマーを使用した場合にキーを抜いてもパワーランプが点灯したままエンジン停止しない場合があります。そのような時はファンクションスイッチB-1をONにしてください。(ムーヴ以外の車種でも同様の症状がでましたらONにしてください。)

# 取付け (フットブレーキ配線)

## 注意

次の車種は、シフトポジション検出が正常にできない可能性があります。その場合は、ファンクションスイッチB-2をONにしてシフトポジション検出を無効にしてください。その際、**安全の為必ずフットブレーキ配線を行ってください。**

- ※シフトチェンジの際、必ずフットブレーキを踏むので、シフトポジション検出のかわりとして使用します。
- ・日産の全ての車種※但し、Y33系のシーマ、セドリック、グロリアで、パードビューナビゲーション装着車はパーキングブレーキへ配線してください。
- ・スターター作動または、ターボタイマー作動時シフトレバーをP/N以外の位置へ動かした時にエンジンが止まらない車種。
- ・シフトレバーが[Ⓜ]の位置で、リモコンスタート時にメインユニットのエラーランプ(赤)とパワーランプ(緑)が同時に点滅する場合。
- ・エアバック等の警告ランプが点灯する車種。

- メインユニットのファンクションスイッチB-2をONにしてください。
- 付属のフットブレーキ延長線(黄)をフットブレーキへ配線してください。  
 フットブレーキを放した状態で0V、踏んだ状態で12Vの線に付属のフットブレーキ延長線(黄)をエレクトロタップで接続します。
- メインユニットのフットブレーキ検出線(黄)とフットブレーキ延長線(黄)のギボシ端子を接続してください。
- リモコンでエンジン始動中、ブレーキを操作しエンジンが止まるか確認してください。(LED確認表(P11)のNO.1を表示しているか確認してください。)

# 取付け (作動確認)

取付け・接続後必ず以下の動作確認を行ってください。

- ファンクションスイッチを全てOFFにします。但し、下記に該当する一部の車種はスイッチをONにしてください。  
 ※①ダイハツムーヴの一部の車種はメインユニットのファンクションスイッチB-1をONにしてください。OFFにするとリモコンでスタートした時、POWERランプが点灯したままセルが回らずエンジンが始動しなかったり、ターボタイマーを使用した場合、キーを抜いてもPOWERランプが点灯したままエンジンが停止しない場合があります。(P13参照)  
 ↓ YES
- イグニッションキーをACCの位置までまわしてください。  
 ・ラジオ等アクセサリ電源のON/OFFができますか?  
 ↓ YES
- イグニッションキーをONの位置までまわしてください。  
 ・メーターパネル等の電源がONし、メインユニットのパワーランプ(緑)が点灯しますか?  
 ↓ YES
- イグニッションキーで通常より長めにエンジン始動してください。  
 ・正常にエンジンが停止しますか?  
 ↓ YES
- イグニッションキーで車のエンジンを停止させ、イグニッションキーを抜いてください。  
 ・正常にエンジンが停止しますか?  
 ↓ YES
- リモコンのEnボタンを押し、スタートボタン(▶)を押してください。  
 ・メインユニットのパワーランプ(緑)が点灯して約6秒後に、エンジンが正常に始動し、メインユニットのパワーランプ(緑)が点滅しますか?  
 ↓ YES
- もう一度リモコンでエンジンを作動させ、イグニッションキーをACCの位置で止めてください。  
 ・約3秒後にエンジンが停止しますか?  
 ↓ YES

●全ての動作は正常です

↓ YES

**A**

- 表示No.1・2の場合(安全装置が動いています)  
 ・復帰後イグニッションキーを抜いた状態で、[Ⓜ]へ
- 表示No.3の場合(シフトポジション検出のできない車種です)  
 ※シフトがパーキング[Ⓜ]・ニュートラル[Ⓝ]の位置にあっても表示します。  
 ・ファンクションスイッチB-2をONにして、フットブレーキ配線(P12)を行い[Ⓜ]へ
- 表示No.4・5の場合  
 ・車からのノイズ又は異常電圧の影響で、本体に異常が起きています。弊社までご連絡してください。

# 取付け(LED確認表)

## LED確認表

接続後の動作確認時や製品使用時、メインユニットに表示があった時に参照してください。

No.	ランプ名称	表示	名称	内容/解除方法
1	ERRORランプ(赤)	●●●●●●●●●●●●●●●●	フットブレーキ検出	本機作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 [対策] フットブレーキ線の接続を確認してください。(P12参照)
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エラー	
2	ERRORランプ(赤)	●●●●●●●●●●●●●●●●	ボンネット検出	本機作動中にボンネットセンサーが働いた状態。解除するには、IGキーをONの位置まで回して下さい。 [対策] ボンネットセンサーの接続を確認してください。
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エラー	
3	ERRORランプ(赤)	●●●●●●●●●●●●●●●●	P.N 検出	本機作動中にシフトレバーをP(パーキング)又はN(ニュートラル)以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 [対策] リモコンでエンジンがかからずこの表示になる場合はフットブレーキ配線(P12)が必要です。
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エラー	
4	ERRORランプ(赤)	●●●●●●●●●●●●●●●●	リレー溶着	メインユニットのリレーが溶着しています。 [対策] 再度ID登録を行って下さい。(P22参照)又は、キーONにして下さい。再度点灯の場合はサービス部へご連絡下さい。
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エラー	
5	ERRORランプ(赤)	●●●●●●●●●●●●●●●●	キーシリンダー適合表示エラー	頻繁に発生する場合は、弊社までご連絡下さい。
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エラー	
6	ERRORランプ(赤)	●●●●●●●●●●●●●●●●	バッテリー電圧検出エラー	バッテリー低下したことをお知らせします。電圧が復活するまで点滅します。バッテリーの整備点検をお勧めします。
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エラー	
7	ERRORランプ(赤)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	キーOFFで本機作動中の状態	正常作動しています。
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エンジンスタートターボタイマーが作動しているとき	
8	ERRORランプ(赤)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	キーがONの状態	正常作動しています。
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エラー	
9	ERRORランプ(赤)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	待機状態	正常作動しています。
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エラー	
10	ERRORランプ(赤)	●●●●●●●●●●●●●●●●	L端子配線違い	L端子以外の線に間違えて配線したときの状態。解除するには正しく配線後、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 [対策] L端子配線の確認をしてください。(P13参照)
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エラー	
11	ERRORランプ(赤)	●●●●●●●●●●●●●●●●	リモコンID未登録	リモコンでID登録して下さい。(P22参照)
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エラー	
12	ERRORランプ(赤)	●●●●●●●●●●●●●●●●	カーテシ検出	カーテシ検出(P19)した場合、本機作動中にドアを開いてエンジンがストップした時の状態。解除するには、IGキーをONの位置まで回して下さい。 [対策] カーテシ線の接続を確認してください。(P19参照)
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エラー	
13	ERRORランプ(赤)	●●●●●●●●●●●●●●●●	IG2未検出	取付けを行った後、確実にキーでエンジン始動させてIG2の認識を行って下さい。(P10 [4]参照)
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エラー	
14	ERRORランプ(赤)	●●●●●●●●●●●●●●●●	ACC検出	本機作動中にIGキーをONまで回さずにACCで止めてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。
	POWERランプ(緑)	○●●●●●●●●●●●●●●●●	エラー	

## 取付け (L端子検出配線について)

### ■簡略化されたエンジン始動検出 (L端子配線省略可能)

本機には、2種類 (自動検出・L端子検出) のエンジン始動検出方法があります。ほとんどの場合、自動検出でエンジン始動を行なえますが、一部車種でできない場合があります。下記のような症状になる場合は、L端子配線を行ってください。

- ・エンジンがかかったり止まったりを繰り返す。
  - ・セルが回らないにもかかわらず、POWERランプが点滅し、本機作動中となっている。
  - ・寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。
- 又、ディーゼル車や寒冷地にてご使用される方はL端子検出を行うと、より確実なエンジン始動が可能です。

以下の手順でL端子配線を行ってください。

**⚠ 注意**

- ・シフトレバーをパーキング[P]にしてキーを抜いてから作業を行ってください。
- ・寒い時にチャージランプが消えない車はL端子配線ができない為、別売のアイドリングセンサー (Be-956L) をお求めください。

- エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開け本機L端子線 (白) を図の様に室内側から入れてください。
- 車のL端子線 (オルタネータの所にあります) まで、本機L端子延長線 (白) を配線してください。
- 車のオルタネータにあるL端子線を探して下さい。
- 車のL端子線と本機L端子延長線 (白) を付属のエレクトロタップで接続してください。
- メインユニットに16Pコネクタを差し込んでください。16Pハーネスから出ているL端子線 (白) と付属のL端子延長線 (白) を接続してください。
- キーでエンジンを始動し、アンテナユニットのパワーランプ (緑) が点灯するのを確認後、キーをOFFにしてください。
- メインユニットのファンクションスイッチA-3をONにしてください。

キーの位置	ON (セルまで回さないでONで止める)	ON (セルを回してエンジンをつける)
エンジンの状態	エンジン停止時	エンジン始動時
電圧	4V以下	6V以上

※エンジン始動時6V以下の場合はBe-966が必要です。

13

## リモコンの使用法 (エンジンを始動/停止させる)

### ■リモコンでエンジンを始動させる (リモコンを操作する時は、アンテナを伸ばしてください。)

1. エンジンスイッチをLED (赤) が点滅するまで押します。
2. LED (赤) が点滅中に、スタートスイッチを押します。

※LEDが点滅から、点灯に変わり電波が送信されます。

### ■リモコンでエンジンを停止させる (リモコンを操作する時は、アンテナを伸ばしてください。)

1. エンジンスイッチをLED (赤) が点滅するまで押します。
2. LED (赤) が点滅中に、ストップスイッチを押します。

※LED (赤) が点滅から、点灯に変わり電波が送信されます。

リモコンのケースは、日常生活防水が施されています。したがって雨や水滴などがかったり、雪の上等に落としたりしても安心してご使用頂けます。

- ⚠ 注意**
- ・電池を入れた時や交換した時は、必ず上記動作を行ってリモコンのLEDが点滅・点灯するか確認してください。
  - ・車から発生するノイズの影響で、エンジンを始動させる時に比べ停止させる時の方が通信距離が短くなる事があります。

## リモコンの防水性について

リモコンは生活防水仕様です。但し、下記のような環境でご使用の際は防水性を保証しかねますのでご了承ください。

- 激しい雨や水中でのリモコンの使用による水の侵入
- 洗濯機洗いや水遊び等による何等かのリモコン本体への負荷が加わったことによる水の侵入。
- リモコンの改造による水の侵入。
- 電池パッキンの劣化や紛失による水の侵入。(電池交換時)

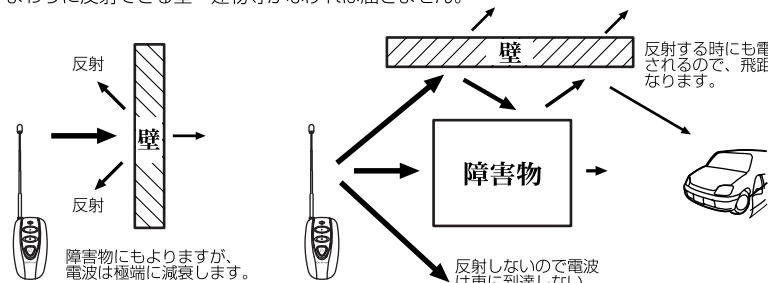
**注意** 長期間リモコンを使用しますと防水パッキンの劣化により防水性が落ちます。その場合は防水パッキンの交換が必要です。(保証期間外は有償交換になります。)

14

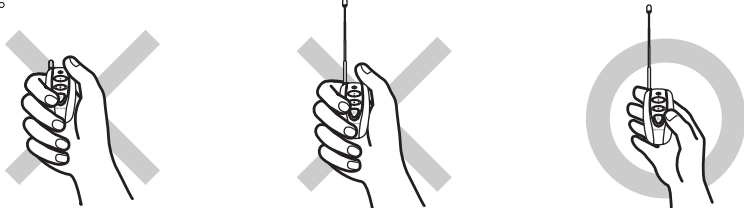
## リモコンの使用法

### ■電波の到達距離について (電波特性)

- ・鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。(電波が障害物によって反射する。)
- ・電波は直進しませんが、ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。



リモコンを操作する時は、電波送受信の安定性を確保するために、下記のように操作してください。



- アンテナを伸ばさずに操作すると電波の受信距離が短くなります。
- ケースやアンテナを、手で包み込まないよう操作してください。
- リモコンは垂直に立てて操作してください。

### ■電池交換のしかた

電池は、下図の手順にしたがって、+の向きを間違えないように交換してください。

1. 電池カバーを下図矢印の位置から爪を入れ、上に外します。
2. 古い電池を2個とも取出し、新しい電池 (CR2016) を2個、+を上にして入れ替えます。
3. 最後に電池カバーを下図のようにマークが合うように注意してはめ込みます。

注意 電池カバーを外すと防水パッキンが残る場合がありますので防水パッキンも取り外して下さい。

※電池カバーと本体ケースのマークを合わせて下さい。

### ⚠ 注意

- ・指定の電池 (CR2016) 以外は使用しないでください。
- ・電池寿命の目安は、新品の電池で1日2回の操作で約1年です。※使用する条件によって異なります。
- ・工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますが、自然放電することで電池寿命が1年以下の場合もあります。

15

## 機能説明 (アイドリング時間の設定)

アイドリング時間の設定はファンクションスイッチB-3で行ないます。使用環境に合わせてお好みの時間に選択して下さい。

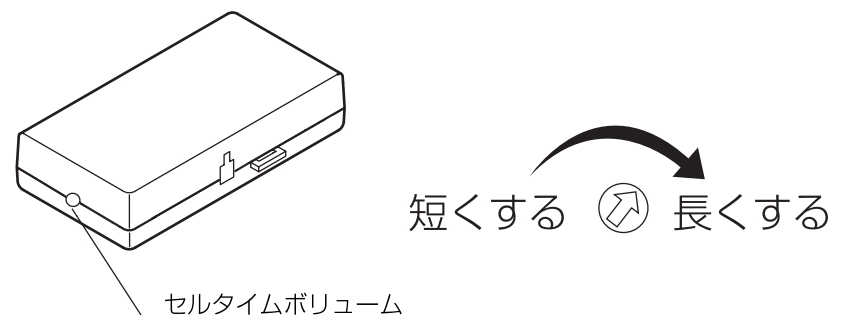
	ファンクションスイッチ B-3	
	OFF	ON
アイドリング時間	20分	40分

## 機能説明 (セル時間の設定)

通常、セル時間は、メインユニットのA-2をOFF (オート設定) にすることで最適な時間でセルを自動的に止めますが、一部車種でごまに、エンジン始動する前にセルが止まったり、エンジン始動後にセルを引きずったりすることがあります。その場合、メインユニット側面にあるセルボリュームを調整することでセル時間を最適な時間にすることができます。

### ■セルボリューム調整のしかた

1. メインユニットのファンクションスイッチ A-2をONにします。
2. メインユニットのセルボリュームを、ドライバー等を使用して調整します。



### セルボリューム調整にあたっての注意点

- 注1. A-2をON (マニュアル設定) にした場合、セルタイムボリュームで0.5秒~2.5秒まで調整できます。
- 注2. A-2をOFF (オート) にした場合、エンジン始動検出確認してから、最長1秒までセル時間を延長できます。

16

## 機能説明(ターボタイマー時間の設定)

本製品はターボ車に必要な走行後アフターアイドルを行うターボタイマー機能がっています。

ターボタイマーは走行時間によってアフターアイドル時間を自動的に算出するセミオート方式を採用しています。

走行時間	ターボタイマー
0秒～15秒	0秒
15秒～15分	約30秒
15分～30分	約1分
30分～1時間	約2分
1時間～2時間	約3分
2時間以上	約5分

### ターボタイマー使用にあたって注意点

一部の車種でターボタイマー作動中、シフトレバーがパーキング $\square$ の位置でキーが抜けてしまう場合にオプションBe-963Pポジション線を車輛のPポジションインジケータランプに配線してメインユニットのファンクションスイッチA-1の設定をします。(P9)

### ターボタイマーを停止するには

ターボタイマー作動中に下記の動作を行うとエンジンが停止します。

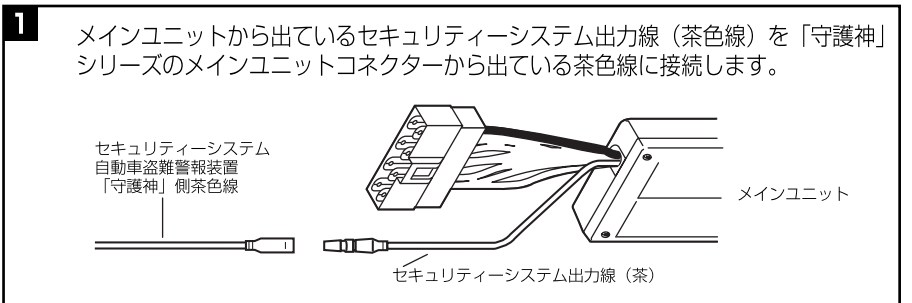
- フットブレーキ配線(P12)を行っている場合、フットブレーキを踏む。
- リモコンのエンジンスイッチを押してLEDランプが点滅中にストップスイッチ(■)を押す。

17

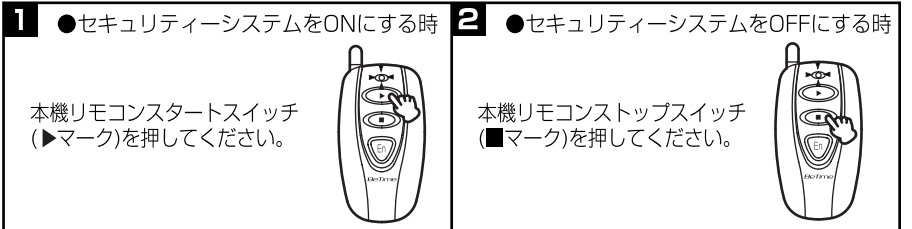
## 機能説明(「守護神」シリーズ連動について)

当社、別売の自動車盗難警報装置「守護神」シリーズを本機のリモコンでスタート、ストップさせることができます。

### ■接続方法



### ■使用方法



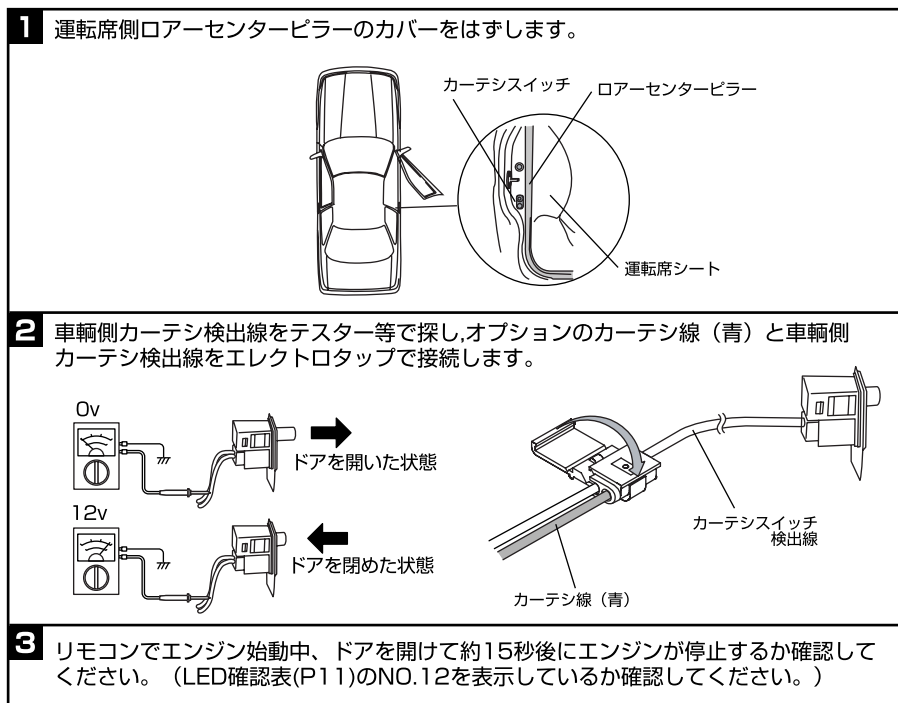
18

## 機能説明(カーテン検出による安全機能) オプション Be-963が必要になります。

■リモコンでエンジン作動中ドアを開けると15秒後にエンジンを停止させる事ができます。

注1.ドアを開けた状態でリモコンでスタートをしてもエンジンは始動しません。必ずドアを閉めた状態でリモコンでスタートしてください。

注2.リモコンでエンジン始動中、ドアを開けてから約15秒以内にイグニッションキーをONの位置まで回すと、エンジンは停止しません。



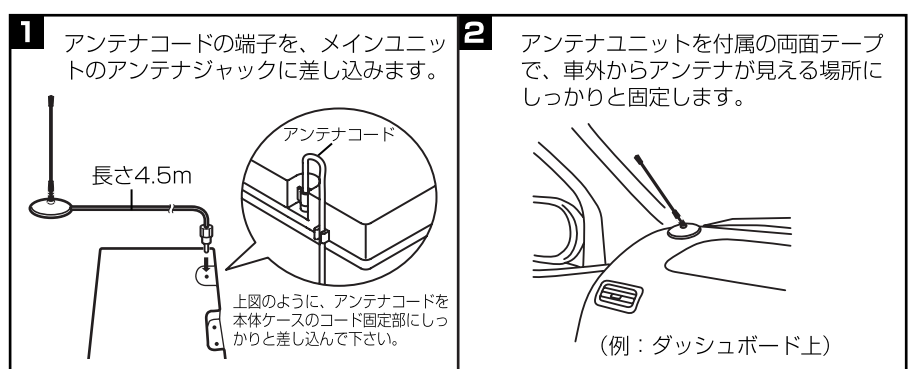
19

## アンテナユニット・メインユニットの固定方法

### ■アンテナユニットの取付け・配線

⚠注意

- アンテナユニットは視界の妨げにならない場所に取付けてください。
- アンテナユニットは、エアバック(助手席・サイド含む)の作動に影響の無い場所に取付けてください。
- 両面テープを貼る際は、あらかじめ汚れや脂分をよくふきとってから貼ってください。



### ■メインユニットの取付け

⚠注意

- メインユニットの固定・配線を行う前に、動作確認(P10)を行ってください。
- エアコンやヒーター等の熱風又は水滴を受ける場所・直接日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付けは避けてください。

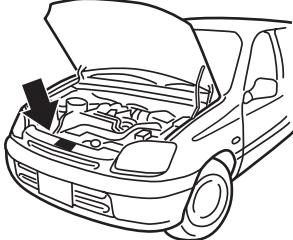
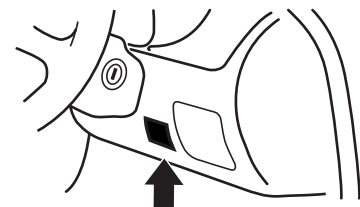


20

## 警告ステッカーの貼り付け場所

### ■警告ステッカーについて

・本機を取付けた車を第三者が使用又は整備をする場合、安全にお使い頂くため付属の「警告ステッカー」を必ず貼り付けてください。

<p><b>1</b> 警告ステッカー（大）の貼り付け場所</p> <p>・ボンネット（ワンボックス車の場合エンジンルームカバー）を開けた時、エンジンの熱を直接受けない目立つ場所に貼り付けます。</p> 	<p><b>2</b> 警告ステッカー（小）の貼り付け場所</p> <p>・ボンネットオープナー（ワンボックス車の場合エンジンカバーフック）付近に貼り付けます。</p> 
---	--

## オプションについて

本機は万が一に備え、オプション品取付による安全対策をお勧めしています。

### ■ボンネットセンサー (Be-960)

ボンネットセンサー (Be-960)を配線する事により、リモコンでエンジン始動中、ボンネットを開けた時エンジンを停止させることができます。

### ■カーテン線 (Be-963) (Pポジション線 兼用)

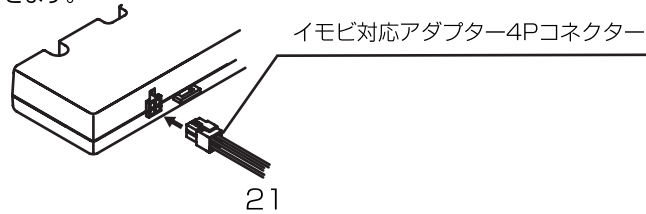
カーテン線 (Be-963)を配線する事により、リモコンでエンジン始動中、ドアを開けると約15秒後にエンジンが停止します。

注1. ドアを開けた状態でリモコンでスタートをしてもエンジンは始動しません。必ずドアを閉めた状態でリモコンでスタートしてください。

注2. リモコンでエンジン始動中、ドアを開けてから約15秒以内にイグニッションキーをONの位置まで回すと、エンジンは停止しません。

### ■イモビ対応アダプター (車種により品番と標準価格が異なります)

イモビ対応アダプターを取り付ける事によって本機でイモビライザー装備車のエンジンを作動させる事ができます。

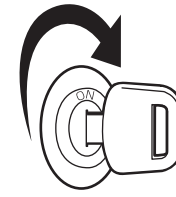


21

## 運転するには

### ■運転するには

本機でエンジンを始動した状態だけでは走行できません。運転するときは、必ずイグニッションキーをONの位置までまわしてから走行してください。  
※フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずに操作してください。



### ⚠ 注意

・リモコンでエンジン始動中、イグニッションキーをSTARTの位置までまわすと、セルモーターが故障するおそれがある為、必ずONの位置でイグニッションキーを止めてください。  
・リモコンでエンジン始動中イグニッションキーをONの位置までまわさずにACCの位置で止めると、安全機能が働き、約3秒後にエンジンが自動停止します。

## IDコードの再登録・追加登録

### IDコードとは

リモコンにはそれぞれ重複しないように「IDコード」が設定されておりメインユニットの「IDコード」と一致しなければ、エンジンを始動させる事ができないようになっています。

### リモコンを紛失または破損した場合

メインユニットを交換することなく、新しいリモコン (別売)を購入していただき、「IDコード」をメインユニットに再登録することで引き続きご使用いただけます。別売リモコン オープン価格

### ■IDコードの再登録方法

1. イグニッションキーを OFFの位置からACCの位置まで回して2秒以上待つてください。
  2. イグニッションキーをOFFの位置へ回してください。
  3. ONの位置まで回して2秒以上待つてください。
  4. イグニッションキーをOFFの位置へ回してください。
  5. リモコンのEnスイッチを押してからストップスイッチ(■)を押してください。
- ※以上の動作を20秒以内に行ってください。

☆車のイグニッション電源 (警告ランプ等) が、2回ON/OFFの動作を行い再登録が終了します。

### ■付属のリモコン以外に予備のリモコンを持つことができます。(付属のリモコンを含め合計2個まで)追加リモコンの場合はこの後、つづけて10秒以内に追加リモコンのEnスイッチを押してからストップ(■)スイッチを押して下さい。

再度、イグニッション電源 (警告ランプ等) が、2回ON/OFFの動作を行い登録が終了します。  
※指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合はイグニッションキーでエンジン始動後、初めからやり直してください。

22

## 故障かな?と思ったら

症状	確認内容	対処方法
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源が入らない。	・専用ハーネスは車に適合していますか?	・適合した専用ハーネスをご使用ください。
	・専用ハーネスは確実に接続されていますか?	・確実に接続してください。
	・アースはとれていますか?	・アースを確実にとってください。
	・本体からアンテナが抜けていませんか?	・アンテナを本体に接続してください。
	・リモコンのアンテナは伸ばしてありますか?	・リモコンのアンテナを伸ばしてください。
	・リモコンを手等で包みこんでいませんか?	・P15を参照して正しく操作してください。
	・リモコンと車の間に遮蔽物がありますか?	・遮蔽物の少ない場所へ移動してください。(P15の「電波の到達距離について」を参照)
	・リモコンの電池が消耗していませんか?	・新しい電池と交換してください。
	・なんらかの理由で本体内の「IDコード」が消失している可能性があります。	・P22の「IDコードの再登録」を行ってください。 ・頻繁に発生する場合は、弊社までご連絡ください。
・リモコンが壊れている可能性があります。	・弊社までご連絡ください。	
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源は入る。	・専用ハーネスは車に適合していますか?	・適合した専用ハーネスをご使用ください。
	・専用ハーネスは確実に接続されていますか?	・確実に接続してください。
	・メインユニットのLED表示が点滅していますか?	・P11の「LED確認表」を参照し、P10の「動作確認」を行ってください。
	・パワーランプ (緑) とエラーランプ (赤) が点灯したままですか?	・P22の「IDコードの再登録」を行ってください。 ・頻繁に発生する場合は、弊社までご連絡ください。
リモコンでエンジンは始動するが、設定時間よりも先にエンジンが停止してしまう。	・アイドリング時間の設定は確実ですか?	・P16「アイドリングの設定」を参照し確認してください。
	・アース不良が発生していませんか?	・アースを確認してください。
	・リモコンでエンジン始動中、イグニッションキーを入れて、ACCの位置で止めると、エンジンが停止します。	・正常です。ACC検出機能が働いて、エンジンを停止します。

23

## 故障かな?と思ったら

症状	確認内容	対処方法
ターボタイマーが作動しない。 (ACC電源もきれる)	・ターボタイマー機能が設定されていますか? (出荷時の設定はOFFです)	・P17「ターボタイマー時間の設定」を参照し設定してください。
	・エラーランプが点滅していますか?	・フットブレーキ検出を行っている場合、イグニッションキーをOFFする時に約5秒以上フットブレーキを踏んでいませんか。イグニッションキーをOFFする時は、約5秒以上フットブレーキを踏まないでください。
リモコンで操作できる距離が極端に短い。	・本体からアンテナが抜けていませんか?	・アンテナを本体に接続してください。
	・リモコンのアンテナは伸ばしてありますか?	・リモコンのアンテナを伸ばしてください。
	・リモコンを手等で包みこんでいませんか?	・P15を参照して正しく操作してください。
	・リモコンと車の間に遮蔽物がありますか? ※電気の流れる材質は、電波を通しにくいです。 (金属・鉄筋コンクリート・トタン壁等)	・遮蔽物の少ない場所へ移動してください。(P15の「電波の到達距離について」を参照)
	・リモコンの電池が消耗していませんか?	・新しい電池と交換してください。

24

## アフターサービスについて

### ■保証書

保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### ■保証期間

ご購入日から3年間です。

### ■修理を依頼される時

「取付（動作確認）」(P10)と「故障かな?と思ったら」(P23~24)のページを参照し点検をしていただいても、なお異常のある時は故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

#### ○保証期間内の場合

恐れ入りますが、取付け販売店に取付け車輛と保証書をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。

#### ○保証期間が経過している場合

有料修理となります。販売店にご相談ください。

### ■アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

### ■リモコンを紛失または破損

リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 仕様

### ■送信機（リモコン）

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	426MHz帯 10波のうち1波
識別IDコード	1000万種
送信出力	1mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送付
周波数安定度	±4ppm以内
周波数偏位	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
送信アンテナ	内蔵ロッドアンテナ
動作温度範囲	-20℃~+60℃
使用電池	リチウム電池 CR2016×2
ケース寸法	32.5 (W) ×59.5 (H) ×13.5 (D) mm
重量	28g (電池含む)

### ■受信機（メインユニット）

受信周波数	426MHz帯 10波のうち1波
受信感度	-116dBm以下で安定動作
局発安定度	±4ppm以内
動作温度範囲	-20℃~+70℃
電源電圧	12V車専用 (DC8~16V)
消費電流	待機時 5mA以下 (平均)
リレー容量・個数	40A×2 (IG1・IG2) 25A×4 (ACC・ST1・ST2・ST CONT)
ケース寸法	138(W)×29(H)×66.5(D)mm
重量	300g (コネクタ・コード含む)

### ■アンテナユニット

受信アンテナ	1/4λホイップアンテナ
コードの長さ	4.5m
寸法	ベース部 : 55 (φ) ×16 (H) mm アンテナ部 : 8 (φ) ×183 (H) mm
重量	45g (コード含まず)